

令和5年7月6日

茨城県教育研修センター教育研究に関する事業に係る指導主事の訪問  
～令和5年度・令和6年度の研究協力校～

7月5日（水曜日）午後、茨城県教育研修センターの教職教育課の海崎昌幸指導主事、佐藤悠人指導主事が訪問されました。

本校は、茨城県教育研修センター教育研究に関する事業において令和5年度・令和6年度の研究協力校となりました（高校2校）。

今回は、指導主事の第1回目の訪問として、「キャリア教育と進路指導」「キャリア教育で育成する力」「キャリア教育の進め方」などについて全教職員を対象（約40名が参加）に説明していただきました。

その後、1学年・年次主任、研究リーダー等と研究の方向性の検討と情報交換、校舎内の見学などを行いました。

【研究主題】

学ぶことと自己の将来をつなげるキャリア教育

一子供が「できること」「意義を感じること」「したいこと」を大切にする教育活動を通して一

【研究の方向性】

- 1 第1学年・年次で中心に取り組む。
- 2 総合学科5クラスで取り組み、農業科、食品技術科も共有していく。
- 3 第1学年・年次の取り組みを、学校全体に広げていく。
- 4 「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」「LHR」で取り組んでいく。
- 5 学習アプリを活用して、「キャリア教育の充実」を図る方法について研究していく。
- 6 鉾田二高の生徒に適した「体系的なキャリア教育の構築」につなげたい。

※研究の方向性は、今後、変更することがあります。

～説明のようす～

